

# MoMCA サテライトミュージアム

岐阜県多治見市にある岐阜県現代陶芸美術館は、近現代の陶芸を専門とする美術館です。英語名 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu の略称から、MoMCA（もむか）として親しまれています。MoMCA は設備改修工事のため来年 2022 年 9 月上旬まで、休館することとなりました。この間、県内各地で当館コレクションをお楽しみいただける「MoMCA サテライトミュージアム」を開催します。

\*新型コロナウイルス感染症の状況により、展覧会や関連の催しに変更が生じる場合があります。

\*詳細・最新情報は順次、各館のウェブサイト等でお知らせいたします。

## 休館のお知らせ

2002年の開館からもうすぐ20年。

休館期間中は、県内各地で

「MoMCAサテライトミュージアム」を開催します。

最新情報はウェブサイトやSNSをご覧ください。

またこの場所でお会いできるまで、

いろいろな場所、さまざまな形で、

引き続きみなさまとつながっていきます。

これからも、MoMCAをどうぞよろしくお願いたします！

## MoMCAサテライトミュージアム



瑞浪市陶磁資料館 11月20日(土)–2022年2月20日(日)

神戸町日比野五鳳記念美術館 12月11日(土)–2022年1月23日(日)

飛驒市美術館 2022年2月5日(土)–3月13日(日)



### 【広報用写真の利用について】

本展覧会を紹介いただける場合に限り、画像データ（1点 300～500KB程度）をお送りします。希望される方は、次の必要事項を記載し、下記担当までメールまたはFAXにてお知らせください。

1. 利用希望の写真の番号 / 2. 貴社名（ご担当者名） / 3. ご住所 / 4. 電話番号・FAX /
5. E-mail / 6. 掲載媒体名 / 7. 題目 / 8. 掲載予定日 / 9. その他（連絡事項などある場合）

### 【本事業に関するお問合せ・写真利用申込】

担当 芝（岐阜県現代陶芸美術館学芸部）

写真担当 野田・廣澤

住所 岐阜県多治見市東町 4-2-5(セラミックパーク MINO 内)

TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101

E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp



岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

# Milestones 一加藤孝造 × 伊藤慶二一

## ●基本情報

会期：2021年11月20日（土）～2022年2月20日（日）

会場：瑞浪市陶磁資料館 加藤孝造展示室、企画展示コーナー

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日・祝日の翌日、年末年始（12/28～1/4）

\*詳細につきましては、瑞浪市陶磁資料館ウェブサイトをご覧ください

観覧料：一般200円、一般団体（20名以上）150円、高校生以下無料

主催：岐阜県現代陶芸美術館、瑞浪市教育委員会

## ●開催趣旨

戦後から現在にかけて、美濃焼は様々な道筋を歩んできました。この度の展覧会では、その道標として瑞浪市出身の加藤孝造と土岐市出身の伊藤慶二を取り上げます。学年は異なるものの、二人はともに1935年生まれ。多治見工業高等学校で油絵を通して出会ってから、約70年来の友人です。共に勤めた岐阜県陶磁器試験場時代、それぞれ五代加藤幸兵衛、日根野作三の薫陶を受けました。その後、加藤は桃山陶の伝統の追求へ、伊藤は美濃における陶のオブジェ制作に早くから取り組み、各々の道を切り拓いてきました。

本展では、荒川豊蔵、五代加藤幸兵衛、日根野作三の作品に加え、過去から近作を通して二人の軌跡と“今”をご紹介します。岐阜県現代陶芸美術館のコレクションより厳選した珠玉の名品約20点と、近作が示す道標（Milestone）を手がかりに、伝統と革新を象徴する二人をつなぐこの地の文化を感じていただければ幸いです。

## 【加藤孝造】

- 1935年 岐阜県瑞浪市に生まれる
- 1953年 岐阜県陶磁器試験場にて五代加藤幸兵衛の指導を受ける
- 1954年 第10回日展（洋画）に初入選
- 1955年 同試験場主任技師に就任 このころ陶芸に進路を固める
- 1962年 日本伝統工芸展 初出品初入選
- 1970年 試験場を退職、多治見市星ヶ台に独立 陶房を訪れた荒川豊蔵の助言で穴窯築窯を決意
- 1973年 可児市久々利に穴窯と登窯を築窯
- 1986年 大阪ツイン21（超高層ビル）メインロビーに志野・織部陶壁制作
- 1990年 美濃陶芸協会会長に就任
- 1991年 多治見市無形文化財「瀬戸黒・志野」の保持者に認定
- 1995年 岐阜県重要無形文化財「瀬戸黒・志野」の保持者に認定
- 2009年 日本陶磁協会賞金賞受賞
- 2010年 重要無形文化財「瀬戸黒」の保持者（人間国宝）に認定
- 2012年 旭日小綬章受章



加藤孝造《赤絵輪連文壺》



加藤孝造《瀬戸黒茶盃》



加藤孝造《志野茶盃》

## 【伊藤慶二】

- 1935年 岐阜県土岐市泉町に生まれる
- 1958年 武蔵野美術学校卒業
- 1960年 岐阜県陶磁器試験場デザイン室に勤務 日根野作三に出会い、師事
- 1963年 JDCA（日本デザイナークラフトマン協会）入会
- 1967年 実家敷地内に設けた工房にガス窯を設置
- 1970年 この頃から多治見市陶磁器意匠研究所、石川県立九谷焼技術研修所の非常勤講師
- 1975年 土岐市泉島田町に工房を建て、ガス窯設置 JDCA 理事に就任
- 1978年 第8回世界クラフト会議・日本クラフトコンペ 美術出版社賞受賞
- 1980年 土岐市五斗時に薪窯を築窯、山の窯完成 国際陶芸アカデミー（IAC）入会
- 1981年 第39回ファエンツァ国際陶芸展 買上賞受賞
- 2006年 岐阜県芸術文化顕彰
- 2007年 第4回円空大賞 円空賞受賞
- 2013年 地域文化芸術功労表彰（文化庁）
- 2017年 薬師寺奉納 日本陶磁協会賞金賞受賞



伊藤慶二《水鳥》



伊藤慶二《小さな角紋》



伊藤慶二《壁顔》



荒川豊蔵《志野水指》



五代加藤幸兵衛《萌黄金彩水指》



日根野作三《楽茶碗》

☑	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	加藤孝造《赤絵輪連文壺》1958年頃 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	②	加藤孝造《瀬戸黒茶盃》2002年 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	③	加藤孝造《志野茶盃》2013年頃 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	④	伊藤慶二《水鳥》1990年 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	伊藤慶二《小さな角紋》2001年 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	伊藤慶二《壁顔》2013年 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑦	荒川豊蔵《志野水指》1938-41年 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	五代加藤幸兵衛《萌黄金彩水指》1960年以降 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑨	日根野作三《楽茶碗》1949年頃 岐阜県現代陶芸美術館蔵

## 【写真利用申込】

担当 芝（岐阜県現代陶芸美術館学芸部）  
写真担当 野田・廣澤

住所 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパーク MINO 内)  
TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101  
E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp